

雇傭ヤシ酒樽製造業に従事シ居ルカ夫レ大正十
 一年四月自業主側ト協定シテ分取協定書ヲ
 一筆才一項永続年傭及改訂新務多由預知
 通帳ニ乗シ従来業主側ニ保管シ居タルヲ本
 年七月申ニ灘敷樽工組合代表者ニ移シ及テ亦
 四月令聯合會主事ト望島村吉右儀ヲ以テ
 業主側側合例ニ要求書白ヲ提出シテ
 一方業主側ニ於テハ四月十二日管下武庫印宝塚
 宝小園ニ於テ役員三十四名集會通事會議シ
 其不協議合會ヲ開催シ協定書ノ結果
 一改正新続年傭預知ハ協定通シ宜カク期ニ
 但シ以テ際業主ニ於テ各取工ノ貯貯額ヲ調査
 指示スルコト

分取(馬)

大正十一年四月日協定書 (按筆)

業條 手傭

一、永続手傭

由三ノ年以テ勤務ニ永続シテキハ左記ノ割
 合ニテ永続手傭ヲ支給ス

但シ一永続年限ノ起算ハ従来勤続年
 數ノ三分一ヲ以テ基準トス

由三ノ年金六十出以後ノ年ニ付金五十出宛
 支給ス但シ一永続年傭金毎期末ニ於テ報テ
 次年トシニ借主ニテ保管ス

退職又ハ解雇ノ際ニ利息若クハ贈與ノ
 一限額ハ取人無義トシ通帳ハ業主ニ於テ保